

みずえだに新聞

Vol. 31
2020年4月
春号



不穏な春

病院の早咲きの桜は三月の初めには満開を迎えずに葉桜となり、順を追って異なる品種の桜が次々と花を咲かせている今日この頃。例年であればこの満開の桜の下、入学式や新学期を迎え、希望に満ちたこの時期ですが、どうやら今年はそのような状況ではなさそうです。今や全世界的に蔓延を続けている新型コロナウイルス。鹿児島での感染は最近まで確認されておらず、どこか対岸の火事的な雰囲気もちらほらというところでしたが、ここにきて数例の感染報告があり、いよいよ他人ごとではない状況になってきました。とはいえもちろん全国に見ればそのような悠長なことを言っていられるような状況ではなく、国民一人一人が危機感を持って責任ある行動を心がけなければならないことは言うまでもありません。



当院でもここに来て、感染予防のための措置を最大限に講じているところです。歯科治療という行為は今回の感染症に限らず、常に感染と隣り合わせにあります。至近距離において口の中を診ていくので、飛沫感染の危険性はとても高く、患者さんから様々な菌やウイルスが感染しやすい環境にあるのです。したがって歯科においては

常々「スタンダードプリコーション」という概念の下、感染防御に努めています。聞きなれない言葉ですが、日本語で言うと「標準感染予防策」。これは全ての患者・医療従事者に適応され、病原微生物の感染源確認の有無にかかわらず、血液・全ての体液・汗を除く分泌物・排泄物・傷のある皮膚・そして粘膜が感染原因になりうるという考えに基づいて感染防御措置を行うという事です。つまりすべての人が感染源となり得るという前提で感染の予防を行うという事です。したがって、具体的には使い捨てのコップやエプロンの使用、患者さんごとの診療台の消毒、器具の交換、もちろん切削器具もしかり。グローブの交換。その他今話題になっている、手洗いの徹底、マスクの着用とありとあらゆる事を想定しながら院内感染の予防に努めております。

先にも述べましたが、鹿児島県においても徐々に感染が確認されてきました。大都市圏においてはオーバースhoot直前にまで感染は拡大しています。今や地元においても同じような状況に陥るかは予想も出来ません。「明日は我が身」と肝に



銘じながら、各自が責任ある行動をとることが求められていると思います。自分がかうつらないことも大事、また人一人が出来ることを懸命にやっておけば、必ずいつものような希望に満ちた春がいつかきつと訪れると信じています。

当院におきましては、更に感染が拡大してきた場合は、より強固な防御策を講じていく予定でいます。その際、各々の患者様にも多少なりともご協力を頂く場合も出てくることも予想されます。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

新人紹介

この春は当院にとりましても慌ただししい春となりました。新しいスタッフが加わり、患者様にはよりきめの細かい医療やサービスを提供できるようになるかと思えます。また子育て組にも変化があり、育休明けから仕事復帰する者、逆に産休に入る者。また新たなマンパワーをもって日々皆様の健口のために頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

受付事務
黒木由紀乃
くろき ゆきの



一月から働いている黒木です。お家に猫6匹犬2匹います。動物大好きです。趣味は遠出して、いろんなところに出かけることです。あとは暇なときにお菓子を作っています。食べることが大好きなので、いつのまにか顔が丸くなっているかもしれないです。(^^)声が大きいのでうるさいかもしれないですが、許して下さい。至らないところも多々ありますが、どうぞよろしくお願い致します。

歯科衛生士
渡辺舞
わたなべ まい



この度四月一日より入社致しました歯科衛生士の渡辺舞です。学生時代は運動部に入っていたので体を動かすことが好きです。また様々なア

テイストの音楽を聴くのも好きで、休日はショッピングやアクティブに過ごすことが多いです。仕事に関しては、患者様とのコミュニケーションを大事にし、尚且つ丁寧な対応ができるように心がけていきたいと思っております。よろしくお願いします。

歯科助手
徳丸菜月
とくまる なつき



鳳凰高校を卒業した歯科助手の徳丸菜月です。高校時代は剣道部に所属していました。音楽鑑賞が好きで休日は音楽を聞いて過ごすことが多いです。至らないこともたくさんあると思いますが頑張ります。よろしくお願いします。

受付事務
網屋香織
あみや かおり



初めまして、4月より受付・事務として働かせて頂くことになりました網屋です。歯科受付の仕事は結婚・三人の子供の出産を経て、十数年ぶりになります。この度はまた院長先生と一緒に働くご縁を頂きましたので、頭をフル回転させて昔みたいに動けるように一生懸命頑張りたいと思います。そして、みずえだに歯科に来院される患者さまにとって居心地の良い歯科医院となるようにお手伝いしていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。



産休入り・育休復帰

歯科衛生士

いわやま はなえ
岩山 華恵



こんにちは。非常勤の岩山です。
 みずえだに歯科に産休、育休を経て戻
 って参りました。またほどよい緊張感
 を持ち、また他のスタッフと協力し、
 患者さんが安心できる診療を届けら
 れるように努めたいと思います。よろ
 しくお願い致します。

歯科助手

はたなか もえ
畠中 萌

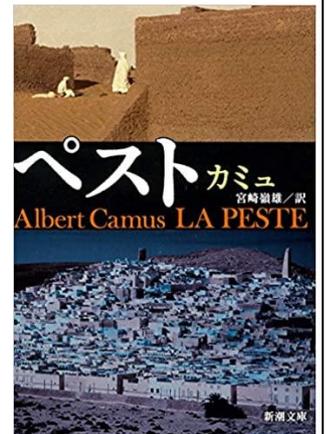


私ごとで恐縮ですが、第二子出産の為
 お休みを頂くこととなりました。
 患者さんやスタッフ、たくさんの方々
 にパワーをもらいながらここまで勤
 めることができました。

本当にありがとうございます。
 いきなりのお休みとなりご迷惑をお
 かけすることもあるかと思いますが、
 少しでも力になれるように残りわず
 かですが、日々を楽しく過ごせたらと
 思います。

書籍 紹介

有史以来人類は感染症に怯え、死と闘
 ってきた。今日、人は病原性微生物、
 得体の知れないものへの怯えから解
 放されたと錯覚していたようだが、全
 世界は今新型コロナウイルスの脅威



の真ただ中にいる。人類の安全神話
 は多少なりとも揺らぎ始めているの
 かも知れない。しかし感染症の歴史、
 「ペスト」「天然痘」「結核」「コレラ」
 などその度に人類はその英知を結集
 させ、見えない敵を滅亡へと導いてき
 たのだ。今だからこそ、その感染症を
 舞台にした、カミュの『ペスト』。

一読の価値あり。
 はじまりは、リウーが階段でつまづ
 いた一匹の死んだ鼠だった。やがて、
 死者が出はじめ、リウーは死因がペス
 トであることに気付く。新聞やラジオ
 がそれを報じ、町はパニックになる。
 最初は楽観的だった市当局も、死者の
 数は増える一方で、その対応に追われ
 るようになる。やがて町は外部と完全
 に遮断される。脱出不可能の状況で、
 市民の精神状態も困憊してゆく。
 ランベールが妻の待つパリに脱出
 したいと言うので、コタールが密輸業
 者を紹介する。コタールは逃亡者で町

を出る気はなかった。パヌルー神父
 は、ペストの発生は人々の罪のせい
 で悔い改めよと説教する。

一方、リウー、タルー、グランは必死
 に患者の治療を続ける。タルーは志
 願の保険隊を組織する。ランベール
 は脱出計画をリウー、タルーに打ち
 明けるが、彼らは町を離れる気はな
 い。やらねばならない仕事が残って
 いるからだ。ランベールは、リウーの
 妻も町の外にいて、しかも病氣療養
 中だということを聞かされる。ラン
 ベールは考えを改め、リウーたちに
 手伝いを申し出る。

少年が苦しみながら死んだ。それも
 罪のせいだと言うパヌルーに、リウ
 ーは抗議する。確かに罪なき者はこ
 の世にはいないのかも知れない。パ
 ヌルーもまたペストで死んでしま
 うのだから。

災厄は突然潮が退いたように終息す
 る。人々は元の生活に戻ってゆく。ラ
 ンベールは妻と再会でき、コタール
 は警察に逮捕される。流行は過ぎた
 はずなのに、タルーは病気で死んで
 しまう。そして、リウーは療養中の妻
 が死んだことを知らされる。
 ぜひ一読あれ！

幸恵先生の

歯のはなし



桜の季節を迎え、新年度がスタートしましたね。例年なら、お花見や外出の機会も増える季節ですが、今は活動の自粛が言われており、新型コロナウイルスの一日でも早い終息が待たれます。そんな中でも、当院の桜はいつもより色鮮やかに、多くの花を咲かせてくれました。桜は咲いている時も、散る時も本当に美しいですね。どんなに天候不順でも、ちゃんと時期が来ると咲いて、散っていく。物言わぬ桜に、大切な事を教えられている気がします。

毎年、恒例の歓迎会のお花見も今年度は中止としましたが、今年も新たなスタッフを迎え当院にもまた新しい風が吹くことを期待しています。私が新人だった時代は、見て学べと言われてきました。先生によって、治療に使う器具や材料の選択が違うため、先生の好みを覚えることも新人歯科医師の役目でした。自分で積極的に質問しなければ教えてもらえない事態でした。経験を積み、教える立場になった頃には、

教える方が努力しなければならぬと言われる時代になってきました。先輩の背中を見て学ぶと言うのは、今の時代では難しいとよく言われますが、新人スタッフのお手本にはなれるよう、新人の頃の気持ちを思い出し、日々精進してきたいと思っています。

新人の頃、ある先輩の先生から、仕事の最後、つまり後片付けをみればその人がどんな治療をするかがわかると言われました。それ以来、治療と同じくらい、治療の終わりの片付けを意識するようになっていきます。縫製の仕事をしていた母にも、子供の頃から、家庭科の宿題などで縫物をする、最後の糸始末、道具の始末をきれいにしなさいと口うるさく言われていました。これも同じ事なんだなあとその時気づいた事を覚えていきます。仕事の最後まで気を抜かない、道具をきれいに使うことは次の仕事に備える事につながるということでしょう。新型コロナウイルスの影響で、久しぶりにミシンを持ち出し甥っ子にマスクを作りました。糸始末をしながら、先輩や母から言

われた事を思い出しました。

三月には無事に誕生日を迎え、今年もまた一つ大人になりました。これからの道のりより、これまでの道のりの方が長くなってしまいました。スタッフからも身体を労わるプレゼントを貰い、まだまだ頑張っていかなければと思う今日この頃です。

今年の目標は「活性化」です。新人スタッフによる医院の活性化を期待しているところです。私自身は、脳を活性化させるため毎日パズルという雑誌を買って、クロスワードや漢字パズル、間違い探しなどの問題を一日一問ずつ解いています。最近では文字を書くことが少なくなり、簡単な漢字でも悩むことが多々ありますが、継続は力なりで最後まで続けていこうと思っています。昨年から続く目標の「初めて探し」。春になり、筍が美味しい季節になったので、今年は初めて自宅で焼き筍を食べました。柔らかくて香ばしく、手間も技術も必要がないのに、何となく贅沢な焼き筍は私にピッタリの料理です。以前、大分の道の駅で購入した柚子みそで頂きましたが、春を感じる瞬間でした。新型コロナウイルスの影響で、いつものように外出は出来ない

おかげで、自宅での楽しみを見つけたいと思います。



編集後記

新型コロナウイルスの影響で、様々なイベントもキャンセルとなり、新聞もいつもより少ないページとなってしまいました。お詫び申し上げます。

世の中全体が閉塞感に満ち、不安で寂しい状況ですが、こんな時こそ、お互いがお互いを思いやって、元気を出していきましょう。そうすることで必ずやまたこの希望に満ちた桜の時期のような時代がきつと訪れると思います。次号は明るい話題満載の「みずえだに新聞」をお届けします。